

令和7年度「化学探究」シラバス

科目名		必修・選択	単位数	類型
化学探究		選択	2	普通科理型
教科書 副教材等	高等学校化学基礎（数研出版）、化学（数研出版） リードLightノート化学基礎（数研出版） 共通テスト対策 [実力完成] 直前演習 化学基礎（ランズ）			

1 学習目標

2年次の「化学基礎」では、「生物質の構成と化学結合」、「物質の変化」について学習しました。得た知識を用いて自然界で見られる様々な事物や事象を学び、化学的なものの見方ができるようになりました。

また、この授業では大学受験に向けて、大学入学共通テストや個別試験に対応した問題演習を進めていきます。これらの問題演習を通じて、入試問題に対応できる実践力を身に付けていきます。

2 学習概要

- ・新課程 セミナー化学＋化学基礎を解きながら、化学基礎の復習を行う。
- ・大学入学共通テストに向けての実力をつけるための演習を行う。
- ・大学入学共通テストで化学基礎が必要な国公立大を希望する生徒、および、理工学系私大で化学が必要な生徒が選択しているはずです。50分間、ただ座っているという無意味な時間とらないように自主的に学ぶ。

3 学習方法

(1) 授業への取組

- ①授業が一番の基本です。集中して授業を聞き、知識や考え方をしっかり身に付けてください。
- ②復習する際は教科書およびノート・プリントを読み返し、知識や考え方を再確認してください。
- ③問題集を解いて、知識・考え方の確認および定着を図ってください。
- ④間違えた問題を中心に、もう一度問題を解きなおしてください。テスト前までに問題集を必ず2周以上してください。

(2) 家庭学習

日々コツコツと学習をしていきましょう。余裕のある生徒は、参考書を活用して自主学習をすると、長期記憶に繋がります。学問に王道はありません。

(3) 学力向上のために

まずは、元素記号や化学反応式の基本的な部分

＜大学入試に向けて＞

- ・模試はやりっぱなしにせず必ず復習してください。模試復習用のノートをつかって模試をやり直し、解けなかった問題や曖昧だった問題をまとめてください。模試をやり直すだけで、その問題に関連する分野の学習も出来るので、とても効率良い学習となります。
- ・今すぐに志望大学の過去問を見て傾向をつかんでください。特に国公立大学を中心に論述問題が多く出題されるので、早めの対策が必要です。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能（①）」、「思考力・判断力・表現力（②）」、「主体的に学習に取り組む態度（③）」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

- ・定期考査（中間・期末考査、学力テスト）……………①、②
- ・小テスト……………①
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・発問に対する発表内容……………②、③
- ・課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考力・判断力・表現力 (②)	主体的に学習に取り組む態度 (③)
評価基準	化学の基本的な概念や原理の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	化学的な事物・現象を対象に、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈の導出などの探究の方法を習得している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。

5 学習計画

学期	単 元 名	学習のねらい (内容のまとめごと)	考查等
一学期	<化学基礎の復習> 1 物質の構成 2 物質の構成粒子 3 粒子の結合 4 物質と化学反応式 5 酸と塩基の反応 6 酸化還元反応	セミナー化学+化学基礎を解きながら、化学基礎の復習を行う。	・ 期末考查
二学期	<入試対策演習> ・ 分野別問題演習 ・ 総合演習 大学入学共通テスト対策 私立大 (看護医療系対策)	問題演習を通じて、入試問題に対応できる実践力を身に付けます。	・ 期末考查
三学期	・ 総合演習 大学入学共通テスト対策 私立大対策	問題演習を通じて、入試問題に対応できる実践力を身に付けます。	